



江戸時代の歴代の住職の墓が並ぶ入山墓地



瀧山寺の三門(仁王門)前に集結した鬼まつりの十二人衆



鬼まつりで手引き衆に導かれて登場する祖父面、祖母面、孫面の三鬼



昭和30年に常磐村と岡崎市が合併したことを記念した石碑



平成2年に撮影された滝団地の全景(写真下)と滝団地の皆さん(写真上)



花園農園でサツマイモの苗を植えるかおる幼稚園の園児たち

# 滝町のなりたち

— 歴史をみる —

六八六年 ■ 朱鳥1

一一二二年 ■ 保安3

一二〇一年 ■ 正治3

一二二一年 ■ 承久3

一二六七年 ■ 文永4

一四四〇年 ■ 永享12

一六四六年 ■ 正保年間

一六四六年 ■ 正保3

江戸時代

一八七三年 ■ 明治6

一八七七年 ■ 明治11

一八八九年 ■ 明治22

一八九二年 ■ 明治25

一九四七年 ■ 昭和22

一九五三年 ■ 昭和28

一九五四年 ■ 昭和29

一九五五年 ■ 昭和30

一九六九年 ■ 昭和44

一九七一年 ■ 昭和46

一九七二年 ■ 昭和47

一九七四年 ■ 昭和49

一九七六年 ■ 昭和51

一九七七年 ■ 昭和52

一九七八年 ■ 昭和53

一九八七年 ■ 昭和62

二〇〇三年 ■ 平成15

二〇〇八年 ■ 平成20

二〇一一年 ■ 平成23

二〇一二年 ■ 平成24

二〇一四年 ■ 平成26

山岳修行者・役小角えんのおづぬが青木川の滝壺から薬師如来を拾い上げ、これを安置するため「吉祥寺」を建てた(後に「瀧山寺」と改名)…1

比叡山で修業した仏泉上人ぶっせんが、荒廃した瀧山寺を再興し、本堂を建立(↓地図C)

源頼朝の従兄弟の寛伝上人かんでんが、頼朝公三回忌に惣持禅院を創建し、本尊として聖観音像(運慶作)を安置した

承久の乱後に三河守護の足利氏が壇越だんおちとなり、最盛期を迎える

瀧山寺の三門(仁王門)が建てられた(↓地図6)…2

松平信光が滝村に萬松寺(↓地図1)を建立

弘願寺(↓地図F)の建立

瀧山東照宮(↓地図D)の建立。徳川家光の命により、天海僧の弟子亮盛上人が東照宮を造営

山間で耕地の少ない滝村は、花崗岩を豊富に有したため、神社仏閣、石仏、墓石、土木工用石材を採掘・加工することで生計を立てた

その後、涸れることのない青木川の急流の露岩に着目し、堰堤を築き、流水を取り入れて水車を動力とする事業(搾油・精米)を始めた

常磐小学校の前身が瀧山寺青龍院に義校として開校

滝村に9基の水車を有し、水車を動力とするガラ紡績が発展した

滝村、米河内村など7村が合併して額田郡常磐村となる

小学校令の改正により青龍尋常小学校となる

学制改革により常磐村立常磐小学校となり、常磐中学校も開校

瀧山東照宮本殿などの建造物が国の重要文化財に指定される

三河路に春を告げる祭りといわれる天下の奇祭、瀧山寺の鬼まつり(↓特集)が愛知県の無形民俗文化財第1号に指定される…3

額田郡常磐村が岡崎市と合併。岡崎市立常磐小学校・常磐中学校(↓地図B)となる…4

常磐保育園開園

昭和42年に始まった瀧山寺の大修理が3月に完工

昭和44年に始まった瀧山東照宮の改修工事が完工

常磐小学校開校100周年

日生不動産岡崎滝団地が竣工、分譲開始

常磐小学校の新校舎(現在の校舎)完成、移転(↓地図H)

岡崎滝団地完成…5



瀧山寺・仁王門の仁王像

## 町名「滝」の由来

DATA



人口 4,322人  
男性 2,144人  
女性 2,178人

世帯数 1,604世帯

面積 5.03km<sup>2</sup>

[2016年7月1日現在]

天武天皇(奈良時代)の御代、行者の役小角は、この地に一堂を建て吉祥寺と称したと伝えられています。ある日、行者が修行のため溪流に沿って山中に分け入ったところ、そこに滔々と落下する一条の滝がありました。この辺りはまさに人跡未踏、修道の霊地かと思われました。

行者は岩に坐し、経を誦よんずること数日、眼前の滝壺の底に大きな龍が金色に輝く仏像を守護しているのを発見しました。行者は滝壺に潜り、仏像を袈裟に包んで奉持しました。輝くもの、それが金色の薬師如来でした。

この滝壺が「三界の滝」(↓地図A)であり、これを語源として、この地を「滝」としたものです。

## 青木川堰堤とガラ紡績

常磐地区を東西に横断する青木川には、江戸時代より搾油用・精米用の水車がありました。野村茂平次らによって明治10年末に水車動力を利用したガラ紡糸が製造されると、この成功をみて、水車の転用が始まり、明治17年には13基がガラ紡水車となりました。

昭和の時代には27基の水車が稼働しましたが、大正末期の電力導入と戦後の伊勢湾台風により水車動力は減少。昭和37年には残った2基も消滅しました。

日陰橋より眺められる3段の堰堤(↓地図E)は、当時の産業跡地であり、産業遺産としても価値のある全国でも珍しい姿を見せています。

## COLUMN 盛んだった 滝の石材採掘

全国有数の石製品工業のまちとして発展してきた岡崎。

滝や米河内周辺から切り出される豊富で良質な石材は、古くは岡崎城の築城時、建築資材や石垣として使われたこともあり、以来、岡崎で発展を続ける石屋町の業績を支えてきました。

大沼街道筋にはいくつも丁場(採石場)がありました。中でも有名だったのが滝の三界でした。

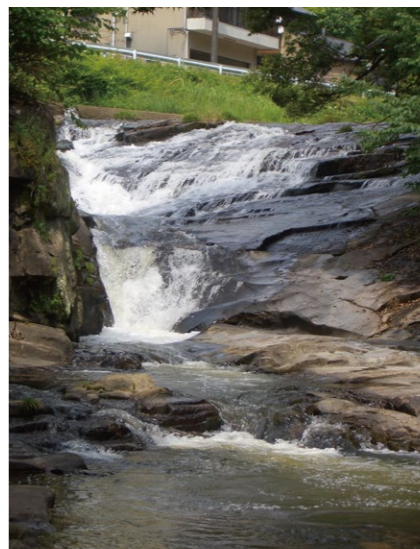
昭和初期、岡崎・額田の石材採掘業者が組織した「三河石材同盟組合」は320名のうち、滝と米河内で155名。組合長には滝の業者が選出されていました。



蒲郡市の竹島にある八百富神社の鳥居にも滝で採れた石が使われており、石碑にも瀧村の文字が残されている

# 常磐学区 まちなものがたりマップ

「常磐」は松を意味するとされ、転じて幾久しく栄える自然豊かな環境を指します。  
鬼まつりで有名な瀧山寺、家康公ゆかりの瀧山東照宮など国の重要文化財を始めとする歴史上価値の高い建造物が数多く見られ、周辺の山並みや河川と一体となった歴史的な風情が感じられる地域です。



**A 三界の滝**  
朱鳥元年(686)、山岳修行者の役小角はこの滝壺から薬師如来を拾い上げたといわれている



**C 瀧山寺**  
奈良時代に創建された古刹。源頼朝の等身大の聖観音像など、国の重要文化財も数多く保存されている



**B 常磐中学校**  
昭和22年に開校した歴史ある中学校。美しい山の緑に囲まれている



**F 弘願寺**  
真宗大谷派の寺院。梵鐘(ぼんしょう)は第2次大戦で供出された後、昭和22年に新しく造営された



**E 青木川の堰堤**  
かつてはここでガラ紡績の水車が回っていた。堰堤には当時の水車の跡が今も残されている



**D 瀧山東照宮**  
正保3年(1646)建立。昭和28年に国の重要文化財に指定されており、日本三東照宮の一つに数えられている



**H 常磐小学校**  
現在地に移転したのは昭和51年。平成24年には、明治6年の開校から140周年を迎えた



**G 瀧山寺・三門(仁王門)**  
国の重要文化財。瀧山寺から約1km離れているが、鎌倉時代にはこの区間全体が寺の境内だった



**I 萬松寺**  
永享12年(1440)、松平信光が龍沢永源を開山として建立した曹洞宗の寺院



**J 水くぐり橋**  
大正10年に仁王橋が架設される以前の大沼街道で、今も川の中には石踏が残されている

